

項目	評価指標 及び 具体的目標	自己評価		自己評価結果の考察・分析および改善策等	関係者評価		学校関係者評価委員の意見
		項目	総合		項目	総合	
Ⅰ 町民が生涯を通じて学び、教育に参画する社会づくりの推進							
1	家庭教育支援の充実に努める。 ・ 啓発活動の推進 ・ 全校生徒の三者面談実施	3.1		○定期テスト前の週にメディアコントロールウィークを実施した。また、保健だより等を活用して積極的に啓発を行った。 ○夏季休業中にすべての家庭と個人面談を行い家庭の状況を把握できた。 ●メディアに関しては、今後も継続して取り組む必要がある。	3.0		○全ての家庭と個人面談を行ったことは評価できる。 ○個人面談の実施は、生徒の生活の様子を知うえで大変な難いです。 ○スマートフォン・SNSについては、生徒と保護者が一緒に講話を聴く機会をつくと良いと思う。 ○メディアコントロールウィークにより視聴時間を可視化して意識させる取り組みはぜひ継続して頂きたい。また、視聴するコンテンツについても適正な選択ができるような取組（情報公開や会話など）が持てるとさらに良いと思う。
2	学校や家庭、地域等が一体となって取り組む教育を推進する。（PTA活動） ・ 積極的な情報発信 ・ PTA活動の見直し ・ 学校運営協議会との連携 ・ 地域人材との積極的連携	3.0		3.1	○ホームページについては、最小限の更新にとどまった。また、定期的に各学級通信等で学校の様子を提供できた。 ○PTA年間活動計画に沿って、協力しながら実施することができた。 ○学校運営協議会で出された意見を参考に、課題解決に向けて全体で取り組むことができた。 ○各学年の総合的な学習の時間で、地域人材を積極的に活用し、キャリア教育を推進できた。 ●学校の様子を定期的に保護者・地域へ発信する。		3.7
Ⅱ 社会を生き抜く基盤を培い、未来を担う人材を育む教育の推進							
1	読書活動を推進する。 ・ 貸出冊数3000の達成 ・ 読書事務との連携	3.0		○図書事務と連携し、新刊の購入を行い図書室の充実を図った。 ○年間8回各学級での「読み聞かせ」を実施し、本に興味をもち、親しむ習慣につながった。 ○キャリア教育に関する新聞記事をスクラップシートにまとめ、教材として活用できるよう整理した。 ●貸出冊数2212冊(1/30現在)、目標の3000冊を下回る見込みである。 ●なかなか読書をする生徒が増えない状況がある。学習委員会と協力し、生徒が図書室へ行くような取り組みを考えていく。 ※3000冊の根拠として、1か月1人2冊を目標とし設定している。 144名×2冊×11か月=3168冊 ※来室者数は、(1,451名 1/30現在) 月平均 161名	3.3		○図書室来室者数は、前年比どうだったのだろうか。 ○目標の3,000冊の根拠はあるのか？昨年の目標の3,500冊もだが、過大目標だったのではないだろうか。 ○文章読解力は、課題を解く上でも重要なスキルであり、能力向上に読書は有効だと思うので引き続き取り組んでいただきたい。 ○話題の人物に関連する本や、新刊本をいち早く紹介するなど、図書環境の充実は素晴らしいものだと考えます。また、キャリア教育に関する記事をまとめる取組は重ねていくことで生きた教材として活用でき、今後のブラッシュアップを望みます。 ○活字離れが進む中、読書だけでなく、新聞を使ったスクラップシートは素晴らしい取り組みだと思う。
2	確かな学力を育む教育を推進する。 ・ 各学年実力テスト地区平均を目指す。 ・ 宮崎大学との連携、ICTの効果的な活用 ・ 授業力の向上 ・ 家庭学習の充実	3.1		○夏季休業中に宮崎大学と連携し、RSTの分析を行い、教師それぞれが、アウトプットを意識した授業改善を行い、読解力の向上や学力向上に努めた。 ○各教科でばらつきはあるが、タブレット等のICT機器を活用した授業を実施することができた。 ●職員間で活用の仕方等を共有し、タブレットを活用した授業がどの教科でも展開できるようにしていく。 ※視察訪問で全職員実施、また初任者を中心に実施している。 ※家庭での学習の様子、自宅帳の内容でアドバイスと協力を依頼している。	3.0		○目標である学力テスト地区平均は達成できたのだろうか。 ○職員は計画的に研究授業や研修を行えたのだろうか。 ○三者面談が生徒、保護者に対する啓発活動になったのだろうか。 ○地方生徒の学力の向上は大きな課題であると感じています。RSTの分析結果に基づく学習支援の強化を今後もぜひ図って頂きたいと思う。また、効率的な学習形態についても研究する必要があると考えます。 ○大学と連携した取り組みは良いと思う。更に、生徒が楽しく興味を持って取り組める授業を期待します。
3	人権を尊重し豊かな心を育む教育を推進する。 ・ いじめ実質ゼロ ・ 道徳教育・人権教育の推進 ・ いじめ防止基本方針に基づく取組の推進 ・ 「いのちの教育週間」での啓発活動の実施	3.2		3.1	○学校生活アンケートを毎月実施し、いじめ不登校対策委員会での対策を協議し、いじめの早期発見・解決に努め、いじめの未然防止につながった。 ○道徳の授業を核にし、平和学習、命を大切にする教育、人権学習集会を計画し、生徒の心に響く学習が実施できた。 ○関係諸機関と連携し、不登校・不登校傾向生徒への改善を図ったが、なかなか解消・変容につながらない状況である。 ●今後も関係機関と連携し、少しでも登校できるよう働きかける。		3.7

4	<p><b>特別支援教育を推進する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じた特別支援教育の充実</li> <li>・研修の推進</li> </ul>	3.1		<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎週水曜日に生徒理解の時間を設け、不登校生・不登校傾向生徒、特別な支援が必要な生徒等の状況を全職員で共通理解し、日々の教育活動に生かすことができた。</li> <li>○夏季休業中に特別支援教育に関連した研修を行い、教職員の資質向上を図った。</li> </ul>	3.3		<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己評価の内容は評価できる。</li> <li>○保護者への支援が必要な家庭も多いと推察するので、困った時は関係機関との連携を図ることが大切です。</li> <li>○生徒の特性に合わせた指導を先生方全員で共有する時間を設けていることに感謝します。今後も研修等、時間を費やしますが、学校生活が楽しく過ごせる環境づくりを期待します。</li> <li>○全職員で情報を共有しながら進めていて良いと思う。</li> </ul>
5	<p><b>郷土を愛し地域社会に参画する態度を育む教育を推進する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業大学校との連携</li> <li>・小学校、地域と連携した取組の推進</li> <li>・ふるさと学習の推進</li> </ul>	3.1		<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業大学校の協力をいただき、カボチャとサツマイモの植え付け・収穫を体験した。また、軽トラ市ではサツマイモの販売を行った。</li> <li>○各学年、総合的な学習の時間で、地域の人材を活用した。ふるさと学習については、主に1学年で実施し、ふるさと川南を深く知ることができた。</li> <li>○生徒会が主体となり、地域クリーン活動を実施し、地域の方との交流ができた。</li> <li>●今後もより多くの地域人材を計画的・系統的に活用していく。</li> </ul>	3.7		<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己評価の通り評価できる。</li> <li>○生徒は、自主的に様々なボランティアにも参加しており、確実に郷土を愛する心は育まれていると感じます。</li> <li>○軽トラ市でのサツマイモの販売や総合的な学習において、社会との繋がりを体験する事で、成長している姿を感じます。地域を巻き込んだクリーン活動や、公民館との共同作業など、誠実に取り組む姿勢はとても頼もしく、これからの川南をけん引してくれることを心より願います。</li> <li>○公民館の石焼きいも機を使用していただきありがとうございました。先生方が生徒のために頑張っている姿をうれしく思います。</li> </ul>
6	<p><b>キャリア教育を推進する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学校協働活動推進員等との連携</li> <li>・地域と連携したキャリア教育の推進</li> </ul>	3.3		<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域学校協働活動推進員と連携しながら、地域人材等を活用した職業講話などのキャリア教育を推進できた。</li> <li>○職場体験学習において、仕事の楽しさや大変さを学ぶことができた。</li> <li>●今後も継続し、生徒に職業観についての学習やキャリア教育を推進していく。</li> </ul>	3.7		<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己評価の通り評価できる。</li> <li>○職場体験においては、仕事の内容を知ることなどが、郷土愛に目覚めるきっかけとなるように思えます。今後もぜひ、継続して頂きたい取組です。</li> </ul>
7	<p><b>社会の変化に対応した多様な人材を育む教育を推進する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン授業実施の推進</li> <li>・ICTの効果的な活用研修</li> <li>・ICT支援員の積極的な活用</li> </ul>	3.1		<ul style="list-style-type: none"> <li>●ICTの効果的な活用（AIドリル）について研修を行ったり、職員間で具体的な指導について情報交換を行ったりしているが、生徒への指導については教員の差が大きい。</li> <li>○各学力調査等、ICT支援員を活用しスムーズに実施することができた。</li> </ul>	3.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>○業務負担の軽減となるICTについては、積極的な活用を期待する。</li> <li>○生徒への指導に差が生じないよう、学校全体での職員のフォローをお願いします。</li> <li>○ICTの活用はもはや常識となりつつあります。高校生になると端末操作の技術が授業の理解に深く関わってきます。先生方もそうですが、今後、中学課程において生徒がスキルを修得することは見過ごすことのできない課題と考えます。</li> <li>○今以上に機器を活用した、生徒の好奇心をくすぐる授業をお願いします。</li> </ul>

### Ⅲ 教育を支える体制や環境の整備・充実

1	<p><b>教職員の資質向上と働き方改革の推進に努める。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不祥事ゼロ</li> <li>・コンプライアンスチェック・研修</li> <li>・業務の見直し</li> </ul>	3.0	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員研修、毎月のコンプライアンスチェックや県教委が提供しているコンプライアンス通信等を活用し、個々の意識向上を図った。</li> <li>○各職員がゆとりが持てるよう、校時程の工夫を行っているが、職員数の関係もあり、なかなか働き方改革を推進できていない状況がある。</li> <li>●特に、タイムマネジメントに関して、職員個人の意識改革をする必要がある。</li> </ul>	3.0	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>○取組は評価できる。</li> <li>○コンプライアンスの項目チェックは地味な作業ですが、とても重要ですので、心掛けていることに対して大変評価します。</li> <li>○職員個人の意識改革については、職員全員が同じ方向を向くよう、職場全体での取り組みを期待します。</li> <li>○タイムマネジメントにおいては個々の作業内容も違うため、解決を図ることは難しいと考えますが、先生方の負担が軽減する方向での改革を期待します。</li> <li>○なかなか難しいとは思いますが、少しでも業務の見直しを行えると良いと思います。</li> </ul>
2	<p><b>安全、安心な教育環境の整備・充実に努める。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・けがや病気の未然防止</li> <li>・定期的な安全点検</li> <li>・危機管理マニュアルの確認</li> </ul>	3.2		<ul style="list-style-type: none"> <li>○危機管理マニュアルデジタル版を全職員に配付し、状況に応じた対策を行うことで大きな事故がなかった。</li> <li>○施設については、毎月安全点検を行い、川南町教育委員会と連携しながら修繕を行っているが、老朽化のため修繕箇所が増えている。</li> </ul>	3.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>○けがや病気に対する対策は評価できる。</li> <li>○施設の老朽化への対応は、修繕では厳しいのではないかと。抜本的な対策を教育委員会に要望する。</li> <li>○施設全般の老朽化が進み、苦勞されていることと思います。自然災害が懸念される昨今緊急時の共通理解を図っている事は大切だと考えます。</li> <li>○校舎の老朽化はどうしようもないが、毎月の安全点検を実施しており、事故等もないことは素晴らしい。</li> </ul>

### Ⅳ 文化やスポーツに親しむ社会づくりの推進

1	<p><b>学校体育の推進に努める。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力向上プランの推進</li> <li>・適正な部活動の推進</li> </ul>	3.2	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体力向上プランに基づいた実践で体力向上に努めた。</li> <li>○部活動は平日、休日とも県の方針に沿って適正に運営されている。</li> <li>○各部活動、部活動指導員、外部指導者が配置され、効果的な部活動の推進につながっている。</li> <li>※部活動加入率…67.3%（97名/144名）（男42.3% 女57.7%）</li> </ul>	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○取組は評価できる。</li> <li>○生徒の部活動加入率など、気になるころではある。</li> <li>○部活の運営において適正に推進されていることに安心しました。表彰される部活もあるとの事、生徒の皆さんが目標をもって部活動、運動の向上に励む事を期待します。</li> <li>○県の方針に沿って適切に運営されており良い。</li> </ul>
---	--	-----	-----	---	---	---	---